

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ	臨床専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Treatment of limited extent extramammary Paget's disease with 5 percent imiquimod cream	
	論文の日本語タイトル	5%イミキモドクリームによる乳房外パジェット病の治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ6-2	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (V)	
	Pubmed ID	16638390	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dermatol Online J	
	雑誌 ID		
	巻	12	
	号	1	
	ページ	22	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2006	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Badgwell, C.	Department of Dermatology, Baylor College of Medicine, Houston, Texas, USA.
	その他著者 1	Rosen, T.	
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		

	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	乳房外パジェット病におけるイミキモドの有用性を調べる	
	研究デザイン	症例報告	
	セッティング	Department of Dermatology, Baylor College of Medicine, Houston	
	対象者	78 歳女性大腿部乳房外パジェット病患者	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （5）	
	介入（要因曝露）	週 3 回 16 週間 5%イミキモドクリーム外用	
	エントポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	腫瘍の退縮	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	主な結果	16 週後びらん形成のため治療を中止した。2 週後には上皮化。6 カ月後の生検で腫瘍の残存はなかった。その後の 9 カ月間再発の徴候なし。	
	結論	病変が限局した乳房外パジェット病の治療にイミキモドが有用である	
	備考		
	レビュワー氏名	八田尚人	
	レビュワーコメント	エビデンスのレベル分類（ V ） 1 例報告であるが、他の皮膚腫瘍に対する成績からもイミキモドの有用性が示唆される。但し、発生部位が硬毛のない大腿部であり、陰部発生例と同列に論じることはいできない。	